

# 保健便り NO.29



いきつきちょうない おうとげりしょう  
生月町内で嘔吐下痢症がでています。気を付けましょう。

平成30年12月14日 平戸市立山田小学校  
文責 眞辺 成子

かんせんせい いちょうえん ちゅうい  
ノロウイルスなどの感染性胃腸炎に注意しよう



は 吐く、<sup>ふくつう</sup>腹痛、<sup>げり</sup>下痢  
な どの症状があつたら、ノロウイルス等による<sup>かんせんせい いちょうえん</sup>感染性胃腸炎かもしれない。

ノロウイルスは、  
11月頃から増え始め、12月～1月は流行のピークです。  
ノロウイルスは、とても<sup>かんせんりょく つよ</sup>感染力が強いのが特徴です。

予防（よぼう）しましょう

## ① 手洗い・うがいをする

食事の前やトイレの後には、せっけんでしっかり手を洗いましょう。

## ② タオルやハンカチの貸し借りはしない

ノロウイルスは<sup>かんせんりょく</sup>感染力が強いウイルスです。油断しないようにしましょう。

## ③ 吐いたときや、下痢でトイレを汚したら、すぐに先生に知らせる

ノロウイルスは、吐いた物や便の中にたくさんいます。乾燥すると<sup>くうきちゅう</sup>空気中にうかんで<sup>かんせん ひろ</sup>感染を広げるので、ハイター等を使ってすぐに消毒をします。

こんな症状があつたら  
早めに病院を受診  
しましょう。

- 元気がなく、ぐったりしている
- おしっこの回数が少ない、または出ない
- 何回も吐いた
- お腹が痛くて、下痢が続いている
- 38℃以上の発熱がある

もしかかったら



かんせんせい いちょうえん しんだん しゅつせきていし  
感染性胃腸炎と診断されたら、出席停止になります。必ず学校に連絡してください。  
おおくは1～2日で回復します。下痢や嘔吐がひどいときは十分な水分の補給をしましょう。

